

服部外科附属メディカルスクエア

鏡内侍II Gは

世の中にもっと知られるべき洗浄機である!

服部外科胃腸科医院様は昭和45年浦和市(現さいたま市)に開院され、現在に至るまで地域医療に貢献されています。平成29年5月26日には、その分院として服部外科附属メディカルスクエア様が開院。令和2年2月には『鏡内侍II G』を導入されました。服部外科附属メディカルスクエアの服部公昭院長をはじめ、スタッフの皆様に鏡内侍II Gを使用されての感想をお伺いしました。



お話くださった服部院長

院長 医学博士 服部公昭 先生

平成4年順天堂大学医学部卒業。
虎の門病院、癌研病院(現/がん研有明病院)、東京山手メディカルセンター、順天堂大学医学部付属病院勤務を経て、
医学博士を取得され服部外科胃腸科医院に勤務。
平成29年に服部外科附属メディカルスクエアを開院。

大腸肛門病学会 専門医・指導医
消化器内視鏡学会 専門医・指導医
消化器外科 認定医
がん治療 認定医
消化器病学会 専門医
都立駒込病院 非常勤医師
外科学会 専門医
麻酔科 標榜医

服部院長に伺いました

本院の服部外科胃腸科医院でも従来機の『鏡内侍』を使用しているとお聞きしましたが

そうです。本院の服部外科胃腸科医院では平成19年1月に『鏡内侍』を導入し、平成26年4月に更新をしています。評判は大変良いですよ。

平成19年以前は内視鏡の検査もそれ程多くなかったため、手で洗浄消毒を行っていましたが、徐々に検査数が増えて内視鏡洗浄機を検討する際に、知人の著名な先生が『鏡内侍』を使用しているとお聞きし、検討を始めました。

強酸性電解水／強アルカリ性電解水を活用していることが決め手

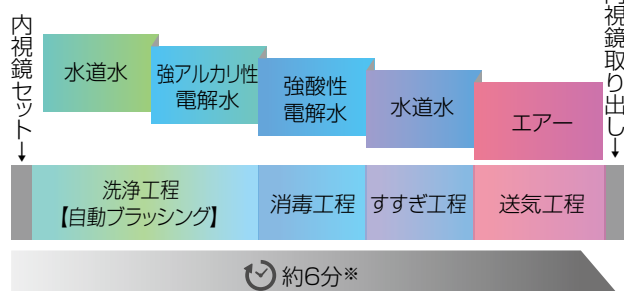
強酸性電解水は一般的な菌やウイルスに対して短時間で不活化すること、抗酸菌にも効果があることを知っていましたので非常に魅力を感じました。

他に強酸性電解水を使用しているメーカーもあったのですが、洗浄効果を有する強アルカリ性電解水を使用しているのは興研さんだけ。すごく理にかなっていると思いました。

開院にあたり『鏡内侍II G』しか検討しませんでした

服部外科附属メディカルスクエアの開院に当たっても、従来機の良いところを踏襲し、更に新機能を搭載した『鏡内侍II G』（右枠の写真）しか検討しませんでした。当然電解水を使用している点はもちろんですが、洗浄消毒時間が速い点と自動ブラッシング機能が採用の決め手ですね。

鏡内侍II Gの洗浄消毒工程／2種類の電解水を使用



※上部消化管内視鏡の場合(下部消化管内視鏡は約9分)

本院では一日の検査数が15件、私のところでは一日10件の検査があるため、患者間洗浄に時間を取られない洗浄機が必要不可欠となります。

その点『鏡内侍II G』は上部内視鏡で6分、下部内視鏡で9分と従来機と同様に短時間で終了するため、ストレスなく効率的に検査を回すことができ大変助かっています。仮に内視鏡を1本しか所有していない施設でも連続で検査が出来るので、内視鏡を多く持たない施設はもちろんのこと、洗浄機を複数台所有している施設においても鏡内侍II Gを使用の方が理想的だと思います。



本院の服部外科胃腸科



平成19年に導入された鏡内侍の従来機(本院)



内視鏡洗浄消毒装置 鏡内侍II G (令和2年から導入)



鏡内侍II Gの設置状況

自動ブラッシングについてお聞かせください

内視鏡の洗浄作業は毎日のことです。スタッフの負担は計り知れないものがあります。特に管路内のブラッシング作業は重労働です。また、内視鏡の管路内をブラッシングする際にブラシを真っすぐ動かさないとチャンネル部(把持部の吸引シリンダー口の金属部分の縁)が摩耗します。

用手洗浄を行っている施設ではその様な光景をよく見かけますが、自動ブラッシング機能はブラシの動きが一定のため人による洗浄のばらつきや内視鏡への負荷がありません。スタッフだけではなくスコープにも優しい洗浄機だと思います。

個人的には本院と私の所では使用している内視鏡のメーカーが異なるので、オリンパス社製スコープと富士フイルム社製スコープが兼用になった点は大きなメリットになりますね。

強酸性電解水のメリットは何でしょう

先ずは、人体や環境に優しいこと、そして安心であること

です。強酸性電解水は、消毒液としてコロナ禍でも活躍したのではないのでしょうか。強酸性電解水自体は最低限のライフライン(水・塩・電気)があれば作れるし、原料は水と塩なので環境にも優しい。高水準消毒薬の廃液を気にする自治体もあるはずですよ。

検査の際は、上部内視鏡検査はスコープを口や鼻に挿入して検査します。一方で、高水準消毒薬は廃液が臭いますし人体にも良くありません。

また、高水準消毒薬を使用している検査室に入ると分かりますが、下部内視鏡検査は便臭が残ります。ところが鏡内侍で洗浄消毒すると便臭が残りません。

コスト面も含めて

もっと世の中に知られるべき内視鏡洗浄機

内視鏡検査は保険点数に含まれないので、ランニングコストが掛からない電解水はクリニックに向いていると思います。価格の高い高水準消毒薬は大量には使えません。『鏡内侍II G』は常に新鮮な電解水を自動でどんどん生成しているため大量に使用できます。

私見ですが、総合的に判断して『鏡内侍II G』は内視鏡洗浄機としてあらゆる面で貢献できて「もっと世の中に知られるべき内視鏡洗浄機」だと思います。

看護師(スタッフ)に伺いました

実際に使用してみてどうでしたか?

デモをしないで購入したため、最初は操作方法や内視鏡のセット方法とか少し不安はありました。しかし、実際に使ってみたらとても楽で、スタッフ全員満足しています。

スタッフは全員、自動ブラッシング機能は従来機でも経験しており、それが「楽」であることを実感しているため、言うことはありません。

内視鏡のセットに関しては、最初洗浄槽が狭く感じてやりづらいかと思いました。実際にセットしてみると従来のように挿入部等を巻く



内視鏡をセットしているスタッフ

行為がなく、把持部等をラックに掛けるだけなので大変「楽に」感じました。

また、フットペダルで洗浄槽カバーが自動開閉するため、両手がフリーになる点や、電解水が自動で生成される点とか、利便性が向上し安心して使えるなと思いました。

あらためて『鏡内侍IIG』のメリットを実感しました

『鏡内侍IIG』が納入される前に、一時的に高水準消毒薬を使用した内視鏡洗浄機を使用していましたが、やはり

り違いが明白でした。

まずは、ブラッシングをしなくて済むことですね、自動ブラッシングは本当に「楽」です。次に、洗浄消毒時間ですね。『鏡内侍IIG』は洗浄消毒時間が速いため検査数が確実に増えました。最後は、「臭い」です。消毒剤独特の臭いが気になっていたのですが、鏡内侍IIGが納品された今は全く気になりませんね。あらためて『鏡内侍IIG』のメリットを実感しました。

みなさまお忙しい中、大変ありがとうございました。



お話くださった服部院長とスタッフの皆様



医療法人 服部会
服部外科付属
メディカルスクエア
院長：服部 公昭

診療科目：消化器内科、胃腸科、
血管外科、乳腺外科、肛門科
(痔)、麻酔科



検査室内

本製品に関する お問い合わせ先

ハイジニック器機ディビジョン 03-5276-1920までお問合せ
ください(または当社webサイト「お問合せ」からご連絡ください)。

デモをご希望の場合は
最寄りの当社営業所ま
でお問合せ下さい。

